

平成28年1月15日

南海電気鉄道株式会社

EST(環境的に持続可能な交通)交通環境大賞 「環境大臣賞」の受賞について

南海電鉄(本社:大阪市浪速区/社長:遠北 光彦)は、このたび、EST普及推進委員会と公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が主催する「第7回 EST交通環境大賞」において、「環境大臣賞」を受賞することが決まりました。

1. EST交通環境大賞について

地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し普及を図ることを目的として、EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団によって平成21年度に創設された表彰制度です。

平成24年度から「環境大臣賞」ならびに「国土交通大臣賞」が設定されました。後援は環境省、国土交通省、警察庁他となっています。

※EST=「Environmentally Sustainable Transport (環境的に持続可能な交通)」の略。OECD(経済協力開発機構)が提案する新しい政策ビジョンであり、長期的な視野に立って交通・環境政策を策定、実施する取組みを表す。人々に対し未来の交通のあるべき姿を示すことにより、人々の意識改革を促し、環境負荷の少ない交通行動や生活様式を選択することを目指すもの。

2. 受賞の理由

今回評価を受けた主な点は、以下のとおりです。

- (1) 当社が現在推進する中期経営計画「深展133計画」(平成27年度~29年度)のグループ経営方針の1つとして「環境重視」を掲げるとともに、「中期環境目標」としてグループ全体での総合的な交通環境対策を推進し、CO₂排出削減目標の達成に向けた管理体制の確立と目標を上回る改善量を達成していること。
- (2) 自社育成森林「なんかいの森」でのCO₂吸収量により取得したクレジットを活用したCO₂オフセットをはじめ、環境活動参加促進制度「ECOニストプログラム」により、従業員が積極的に環境活動に参加する風土醸成を図っていること。
- (3) 大阪府との「グリーンパートナー協定」の締結をはじめとした沿線自治体等との協働により、住民参加型の各種環境イベントを開催、地域と連携した環境保全活動を実施し、エコツアー、パークスガーデン等により地域活性化にも貢献していること。

3. 当社の環境保全への主な取組み

平成21年6月 大阪府と「グリーンパートナー協定」締結

平成22年3月 千代田工場（河内長野市）でISO14001の認証取得

平成24年3月 本社部門でISO14001の認証取得

平成25年3月 「なんかいの森」におけるオフセット・クレジットの認証取得

平成26年3月 大阪府、岬町、環境農林水産総合研究所と「おおさか生物多様性パートナー協定」締結

当社グループでは、すべての事業活動を通じて環境への影響を常に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動することを「環境理念」に掲げております。

今後ともより一層、地球温暖化防止等の環境保全に貢献してまいりたいと考えています。

以 上